

第7回清原地区新設小学校開校準備委員会の結果について

■ 開催結果概要

- 1 日時 令和元年9月24日(火) 18時30分～19時30分
- 2 場所 清原中央小学校 3階ランチルーム
- 3 出席者 清原地区開校準備委員会委員 27名(欠席10名), 教育委員会事務局17名
- 4 内容と結果

(1) 校名の具体的な作成方法等について

⇒ 公募概要, 校名候補の選定の考え方・スケジュールについて理解が得られたほか, 校名公募の周知や選定作業への協力について了承した。

(2) 校歌・校章の作成について

⇒ 校歌・校章の作成にあたっては, 教育委員会が地域や保護者と一緒になって作成できるような作成主体を検討することとし, 作成方針やスケジュールの概要などについて, 次回の開校準備委員会で御意見をいただくことで了承した。

■ 開校準備委員会での主な意見

<校名の具体的な作成方法等について>

- ・ 開校準備委員会で校名候補の絞り込みを行った後は, 教育委員会でどのような形で1つの校名案を決定するのか。(開校準備委員会)
⇒ 教育長と4名の教育委員で構成される教育委員会会議において審議決定する。(事務局)
- ・ 校名の作成については, 開校準備委員会からの御意見などを踏まえ, 前回示したスケジュールから前倒しし, 今年度内の校名の決定を目指していく予定であり, 開校準備委員会においては, 校名公募の周知の協力, また, 応募があった校名の選定を担っていただくので, 今後もよろしくお願ひしたい。(委員長)

<校歌・校章の作成について>

- ・ 公募や専門家等に作成を依頼する方法などがある中, 例えばアイデアだけを公募して, 作成を専門家等に依頼するような方法は可能なのか。(開校準備委員会)
⇒ 御意見いただいたように, 例えば校歌などに盛り込みたいフレーズなどを募集し, 応募があった言葉を参考に, 専門家等に校歌の作詞をお願いする方法もある。教育委員会としては, 多くの方が校歌・校章の作成に携われるような手法が望ましいと考えているが, そういった意見・アイデアなどについても御意見を伺いたいと考えている。(事務局)
- ・ 学校名や教育目標などを踏まえながら校歌・校章のコンセプトの検討とあるが, 新設小学校の教育目標は明確に決まっているのか。(開校準備委員会)
⇒ 今年度から教育委員会と清原中央小学校によるワーキンググループを設置し, 新設小学校の学校運営にかかる検討をしているところであり, 教育目標についても, このワーキンググループの中で検討を行い, 今後, 年度内を目途に教育目標の素案作成を目指したい。(事務局)
- ・ 今後のスケジュールにおいて, 特に校歌についてだが, 作成方針が決まり, 作成準備・作成作業を行うとなると, スケジュールとして問題ないのか。(開校準備委員会)
⇒ 今年度内に, 作成スケジュールなども検討し, 前倒しできる部分については前倒ししたいと考えているが, 校歌の作詞・作曲の作成期間としては, 過去事例や他市事例などを踏まえると, 3～4か月程度を見込んでいます。また, 作成に入る前に, どういった校歌を作っていくのかなどのコンセプト検討をはじめ, 事前準備をしっかりと行っていくことで, 実際の作成作業は円滑にできると考えています。(事務局)

- ・ 清原地区の学校の校章は似たような校章が多いように見受けられるが、新設小学校の校章についても、地域としてまとまり・一体感などを意識して作成するのか、まったく新しいものとして作成するのか、選定の基準や方向性のようなものはこうした開校準備委員会の場で議論してもいいと思う。(開校準備委員会)

 - ⇒ どういった校章を作っていくのか、そういったコンセプト、また具体的な選定基準などについては、地域や保護者からの意見を伺いながら検討していきたい。(事務局)
 - ⇒ 校章が清原地区の他の学校の校章とまったく違うデザインだった場合、どこにある学校か校章からは分からないという懸念がある。一方で、地域としてのまとまりは校章では求めず、新設小学校の校名に由来するようなデザインにすることもできる。公募や専門家に依頼するにしても、校章の作成に関する方向性は示していく必要があると思う。(開校準備委員会)
 - ⇒ 地区内の学校とデザインをそろえていく方がいいのか、まったく新しいデザインとするのか、そういった御意見をこの開校準備委員会でいただきながら検討していきたい。(委員長)
 - ⇒ 清原地区の学校の校章デザインだが、清原中学校は松の葉であり中のデザインが花になっている。清原中央小学校は桜の葉である。他の清原北小学校、清原東小学校、清原南小学校は桜の葉ではない。植物で統一はされているが、同じ植物ではない。(開校準備委員会)

- ・ 作成の主体者についてだが、「教育委員会が主導、または開校準備委員会や新たな組織が主導」といくつかの案が示されているが、作業の効率性などを考えると、教育委員会が主導して作成した方がいいのではないのか。(開校準備委員会)

 - ⇒ 作成スケジュールの検討や会議開催などは教育委員会が主導で行うことを考えているが、ここで記載している主導とは、専門家や公募作品の選定など、具体的な作成作業を教育委員会だけではなく、地域や保護者と一緒になって行っていくということである。(事務局)
 - ⇒ 会議や検討の場などの設定は教育委員会が担って、実際の作成作業や検討作業について、地域や保護者も交じって決めていくということであり、地域や保護者の関わり方をどのレベルにするのかということかと思う。(開校準備委員会)
 - ⇒ 本市過去事例では、学校が中心となり、地域や保護者と校歌・校章検討部会を設置し、これらの組織を通して選定・作成をしてきたので、これらの例に倣って教育委員会と地域、保護者、学校と一緒に別途組織を立ち上げて作成していくことも考えられる。(事務局)

- ・ 教育委員会が全て決めてしまうのではなく、地域や保護者が校歌・校章の作成に参画しているという提案であると考えている。これまでの清原地区の学校の流れを汲んでいくのか、新しいものにするのかなど、これから校歌・校章を作成するにあたっての地域や保護者の考えを取り入れてくれるということだと思う。私たちはその中で、どういったものを作成していけばよいのかを知恵を出し合いながら、教育委員会と共に考えていければよいと思う。(開校準備委員会)

 - ⇒ 次回、12月頃開催予定の開校準備委員会において、校歌・校章にかかる大まかな作成方針やスケジュールの概要を示させていただくので、また御意見をいただければと思う。(事務局)